

旧中央小跡地の暫定利用を要望。 千代田町・二中地区の区画整理は!?

市議になり2年目を迎えました。2月28日より28日間開催された、第1回定例会。今年度は総務常任委員会の副委員長に就任しました。



平成30年度 第1回定例会(3月8日)
主に平成30年度の予算審議。一般会計は1,400億円余りで、対前年比1.2%の減。社会保障費の増大で厳しい財政状況の中ですが、30年度は本町五差路の改良や日赤跡地活用などが動きはじめます。

旧中央小学校の跡地利用について

跡地活用は地域住民にとっては非常に関心の高いものとなっています。校舎については平成13年に約5,000万円かけ耐震補強工事を行い、体育館についても平成25年に約9,500万円かけて改修工事を行なったばかりであり、昨年8月に地元自治会連合会より要望書を提出させて頂き

ましたが、まだまだ既存施設を活用している環境であると感じております。是非、地元要望を考慮していただくよう何卒お願いをします。
また活用が決まるまでの暫定期間は、そのまま廃校状態にしておくのではなく、地元地域で校庭等をコミュニティの場として活用させて頂きたいです。特に我々の地元は街場であり、旧中央小のような雄大な敷地は他になく、今までも地域住民がグラウンドゴルフ等で利用をされました。先日行われた桃井小の学校開放の調整会議でも新規で参加したいという団体も増えたという聞いております。そのまま放置しておくのではなくできるだけ活用頂けるようご検討をお願いします。

千代田町・二中地区、区画整理事業の進捗

現在、市施行の土地区画整理事業を12地区で進めているところであり、中心市街地及びその周辺の千代田町及び二中地区において施行されている土地区画整理事業における、現在の整備状況についてです。

まず千代田町三丁目土地区画整理事業の現在の整備状況について、仮換地指定が今年度におきまして100%となり、建物移転は平成29年度末で地区内全25戸のうち12戸が完了し、全体事業ペースで24%の進捗です。

また、二中地区(第一)土地区画整理事業の整備状況は、平成29年度末で仮換地指定率が約68%、建物移転は121戸が完了し、道路工事は延長499メートルが完成しており、全体事業ペースで21.3%の進捗です。同じく、二中地区(第三)土地区画整理事業は、建物移転は既に完了し、道路工事も広東橋が開通するなど今年度でほぼ完了する見込みで、事業終息に向かっているところと見られます。

第一コミュセンの運用開始

4月から開始の第一コミュニティセンターの運用について、広報前橋において使用料金や団体登録、予約方法についての周知がありました。桃井地区・中央地区の方そして南町の方々にも是非利用頂きたいところではありますが、当面の間、教育委員会が、直接、運営を行っていくと聞いております。団体登録の状況については、去る2月19日から利用団体登録の受付を開始し、ダンス、茶道、子育てのサークルなど20団体ほどの登録があります。

旧中央小の跡地利用、千代田・二中の区画整理、市政情報発信の強化、第1コミュセンの活用。地元、そして前橋を守る。つつみはじめ

ただコミュニティセンターは中央公民館と違って、毎月の調整会議で予約の調整を行なっていくと聞きました。こうするとスポーツで予約をとりやすくなる反面、毎月決まった曜日や時間など定期的に行いたい団体には不確定なぶん不便さもありまます。例えば減免許可が出た団体には一定期間先まで予約できる優遇措置をとるなど、多くの団体に継続して利用頂けるよう、検討頂ければと思います。利用していく中で改善点がでてくれば見直ししていき、使い勝手によりよくなっていくようお願いいたします。

前橋市のホームページが変わります

本市のホームページにおいては、直近のシステム更新から6年以上が経過しており、私も申請書のダウンロードなどはじめ、ホームページを利用しています。スマートフォンからの閲覧に対応していないので非常に見づらかったり、情報量が多すぎて必要な情報を見つけにくい等の不便さを感じています。

年間の訪問者数が約360万件と、かなり多くの方が利用していると感ずますが、半数以上がスマートフォン等のモバイル端末から閲覧しているものにも関わらず、対応していないというのは残念でなりません。

今後スマートフォンやタブレットに対応することや掲載情報の整理、心身の機能に制約がある方の情報へのアクセスのしやすさ、すなわちウェブアクセシビリティへの対応等の課題解決をお願いします。

情報発信の強化を!

市民の方から市政情報に関して、「初めて聞いた」「知らなかった」といったお言葉を頂くことも多々あります。

まず、ウェブアクセシビリティについてはシステム上でチェック・修正できるようにいたします。具体例としては、曜日の土曜日を「土(かっこ)」と表記した場合、視覚障害者等が用いる音声読み上げソフトでは、「土(つち)」と読んでしまう可能性があるため、漢字のみの表記である「土曜(どよう)」へと修正が行われることなどが挙げられます。

また、緊急時の情報掲載について市役所の外からでも特定の外部端末やメール等を用いて情報掲載できるようにする見込みです。災害等、緊急時の情報発信については、正確かつ迅速な情報発信が求められます。被災者や、その家族は不安の中、今、逃げるべきなのか、留まるべきなのか、どこに逃げればいいのか。そういった判断のための情報が、二次災害を防ぎますので、システム更新に合わせて発信体制も強化をお願いします。



市議となり2年目で、 総務常任委員会の副委員長に就任! 企業の雇用対策、上電の活性化など取り組んでいきます!



上毛電鉄の活性化を!

平成30年度から34年度までの第5期上毛線再生基本方針が決定され、支援策の中で上毛電鉄が現在保有している車両は8編成16両ですが、製造から50年近くを経過しており、このうち、2編成4両について、新造車両による更新を盛り込んでいます。またレールの重軌条化、さらには、創業当時から80年以上使用している電路を支える鉄柱について、将来に向けた長期的な安全確保のためのコンクリート柱化を計画的に盛り込んでいきます。

現状と存続理由の検証の中で、近年の輸送人員の推移を見ると、横ばいかやや減少傾向であります。直近の平成28年度では154万人の方に利用頂いており、通勤では27万人、単純計算で1日756人、通学では79万人、単純計算で1日2,186人と往復のぶん半分で割っても、利用者がいるのを感じました。とは言え、このまま補助金等の金銭的な支援を続けるだけでは変わりません。公共交通等との連携はもろもろ今後の立地適正化計画をしっかりと盛り込んで頂き、またイベントなどソフト面でも新たな施策に挑戦して頂ければと思います。私のいとも数年前に、上電の車両で結婚披露パーティーをやらせて頂きました。他社の鉄道会社においても、色々な施策に取り組みられておりますが、本市でも担当部署を超えたオール前橋で沿線自治体と連携して支援頂けるようお願い致します。

中央地区住民の避難所変更について

4月から新しい桃井小学校開校し、旧中央小学校が空くのに伴い、指定避難所を新しい桃井小学校と第一中学校に自治会単位で振り分けさせていただきます。またこのことにつきまして、4月に関係する自治会に回覧などで周知するほか、5月1日の広報まえばしに「一緒に配布予定の新しい『総合防災マップ』」にも反映させていただきます。

避難所が変更となることを知らない方はもちろんですが、長く近隣に住んでいる方からすると、そこが避難所であるという先入観から、災害時等の混乱の中、行ってみると施錠されており中へ入れないというご様子も予想されます。指定避難所に関してはしっかりと周知頂くようお願いいたします。

雇用対策と高校生への就労支援

本市でも中小企業の人材不足は急務であります。先日の商工まえばしの中で、中小企業が今、著しく減少しているとの記載がありました。廃業の中で、約半数が赤字にもかかわらず事業を閉じるのは、経営者の高齢化と後継者難が背景にあるとあります。このままでは数年後に約30万人の中小企業経営者が70歳を超える「大企業継承時代」を迎える、本市企業でも技術やノウハウを若い世代へ継承していくことが重要であると感じております。しかしながら、高校卒業後、首都圏をはじめとする県外に進学した若者の多くは、そのまま就職してしまいうケースが多いのが現状です。

平成29年3月に卒業した県内の高校生の進路状況を見ても、大学等へ進学する9,100人のうち、5,900人は県外へ進学し、そのうち就職時に県内へ戻ってくるのは2,000人で、残りの4,000人はそのまま県外で就職すると聞きました。そんな中、高校生のための企業説明会を新たに予算計上しています。県外へ進学した学生が、地元で就職したいが企業を知らない、また、情報が無い、と言われていた事から、高校生を対象に、進学前に市内企業を知って頂くために、開催するものです。対象は、高校生の全学年のほか、保護者なども含め開催する予定です。地元企業の仕事内容を体験する事で、県外に進学する学生へのUターン就職や、高校卒業時に就職する学生にも地元定着を意識付けられるものにしたと考えています。

雇用弱者を守れ!

雇用弱者とされる障害者やひとり親家庭の父母への雇用を促進について企業向けの奨励金を行なっています。短時間労働者では、一人10万円で、それ以外では一人につき20万円を交付しております。この実績をいたしましては、奨励金を開始した平成24年度から平成28年度までの5年間に50件を交付し、平成29年度は現在までに4件となっております。毎年6、7件程度の交付となりますが、平成26年度の交付は23件と多くなっており、これは平成25年度の障害者法定雇用率の引き上げによるもので、平成30年4月にはさらに法定雇用率が引き上げとなる事から、今後の利用増加が見込まれます。

新聞の一面に掲載!!

この質問が翌日(8月9日)の上毛新聞の一面に取り上げられました! 今後も中小企業に対する雇用促進事業に取り組んでいきます。

現役最年少
前橋市議会議員

つつみ はじめ

上半期
活動報告

ビクター跡地(大渡町)

広大なビクターJVC跡地については、既に建設してあるニチガスのガスステーションをはじめ、福山通運の配送センターや群電など4社が入る予定。今後も企業誘致を進めていきます。



陳情への対応①

破損したガードレールを早急に対応するよう市へ要望(南町内)



日本代表監督が前橋へ

卓球女子の日本代表監督である星野(旧姓馬場)監督が前橋の子供たちに卓球の指導へ来橋。今後も児童のスポーツ強化に努めていきます。



陳情への対応④

一通の逆走や一時不停止の多い交差点。表示が消えかけている上に路側帯は完全に消滅していたことから対応。(千代田町内)



陳情への対応②

前橋ラグビスクールから要望頂いた、河川敷ラグビー場の犬等の注意看板。散歩で糞をそのままにしたり、せつかくの芝を掘り返すのが散見され、子供たちが練習の際に衛生的によくないことから設置。



陳情への対応③

草木が生い茂り、蚊がひどかったことから剪定を市へ要望(大手町内)



スポーツ環境整備

昨年は日吉体育館へ新しい卓球台を2台入れ、今年は大渡体育館へ新しい卓球台を2台入れました。今後もスポーツ環境の整備に努めていきます。

